

令和3年8月14日

登録番号 13 — 037
氏名 林 久 善

登録番号 19 — 001
氏名 石井 大輔

大阪市地域公共人材活動報告書

- 1 派遣日時 2021年8月14日（土）10:00～12:15
(初回ヒアリング)
- 2 派遣場所 グローバルユース防災サミット ZOOMミーティング
- 3 参加人員 グローバルユース防災サミット6人/地域公共人材2名/事務局1名 計9名
- 4 活動内容

ミーティングの位置づけ：初回ヒアリング

<議題>

- ・ 顔合わせ／自己紹介
- ・ グローバルユース防災サミットの経緯と活動内容の確認
 - 大阪市と姉妹都市提携を結んでいるドイツ・ハンブルグ市との国際交流から始まる
 - 防災をテーマにした交流のほか、ドイツ発祥のお菓子を使った交流（グミ外交）
 - 2025年の大阪万博、2030年のSDGsの達成を見据えた活動
- ・ 「地域公共人材派遣完了後の姿」の確認
 - 2021年10月30日（土）のグローバルユース防災サミットを成功させる
 - 成功とは、同世代（大学生）、同性（女性）、大阪在住、10～20年先を考える人といった仲間が増えている状態
- ・ 地域公共人材派遣計画の作成
 - グローバルユース防災サミットの集客（目標：30名）のための広報施策の検討（9月30日頃までに集客したい、ドイツとのお菓子の交換をするため）
 - グローバルユース防災サミット実施後の振り返りと中期的な展望・計画の検討
 - 全体の計画は以下の通り。
 - ◆ 第1回：仲間になってもらいたい人／想定参加者の解像度を高める
 - ◆ 第2回：仲間になってもらいたい人／想定参加者に対する広報施策の検討
 - ◆ 第3回：グローバルユース防災サミットの魅力や価値の言語化
 - ◆ 第4回：10月30日（土）の本番に参加／見学
 - ◆ 第5回：グローバルユース防災サミットの振り返りと中期的な展望・計画の検討

<所感>

豪雨や台風、地震といった災害多発国の日本にあって、若年層の関心を高めるための「防災」といったテーマに活動されており、社会ニーズが低くても継続した活動が必要な分野と考えます。

具体的には、当事者の若者、女性が参画し、イベントの実施のために助成金や補助金などに役員のコネクションを活かして適切に企画されておられるように感じました。

一方、イベントに賛同する個人や団体が多い反面、参加者の増加にはつながっていない点があり、趣旨に賛同してもらえる自治体や教育機関などの組織的な支援に結びつけることが重要と感じました。

対話の場をファシリテートすることに加えて、防災を専門として活動してきた経験も活かして具体的なサポートを考えております。

<所感>

中学2年生から大学生まで、まさにユース世代3人がミーティングに参加。それぞれに問題意識や考えを持っており、とても心強く思いました。すでにその時点で、問題意識を解決するための取り組みは始まっていると私は思っています。ユース世代の3人が考えていること、やりたいことを丁寧に引き出し、それを実現するための議論に協力していきたいと思います。